

地域から世界へ、世界を身近に

2026年度 国際交流基金地球市民賞 応募ガイドライン

The Japan Foundation Prizes for Global Citizenship 2026 Guideline

みなさまからのご応募・ご推薦をお待ちしております

(自薦・他薦問わず最大5件まで)

授賞件数 3件以内

締切 2026年7月22日(水)

授賞内容 正賞(賞状)と副賞(1件200万円)

発表 2027年1月～2月頃
国際交流基金ウェブサイトにて発表

応募ガイドライン
応募申請書



お問合せ

国際交流基金 ブランド推進部 広報課 地球市民賞担当
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-4 四谷クルーセ
Eメール chikyushimin@jpf.go.jp

JAPAN FOUNDATION 
国際交流基金

2026年度国際交流基金地球市民賞 受賞候補団体を募集します

国際交流基金地球市民賞(以下、地球市民賞)は、1985年に創設され、本年度で42年目を迎えます。全国各地で国際文化交流活動を通じて、日本と海外の市民同士の結びつきや連携を深め、互いの知恵やアイデアを交換し、ともに考える団体を応援します。これまでに127の団体等が受賞され、さらなる飛躍のきっかけとなるとともに、地域の活性化、地方創生にも貢献しています。

【地球市民賞の概要】

対象となる団体

公益性の高い国際文化交流活動を行っている日本国内の団体

※団体の法人格は問いませんが、地方自治体は対象となりません。

活動例

- 日本と海外をつなぐ文化・芸術の交流を通じて、豊かで活気のある地域やコミュニティをつくる活動
- 外国人の多様な文化(言語教育を含む)を理解、尊重し、ともに豊かで活気のある地域やコミュニティを築いていこうとする活動
- 共通の関心や問題意識を通じ、日本と海外の市民同士の連携や相互理解を深める活動

など

選考のポイント

- 1 先進性**
国際文化交流の一つのモデルとして、他の団体の参考となる活動であること
- 2 独自性**
独自のアイデアを活かした活動であること
- 3 継続性**
少なくとも3年以上、着実な活動をしてきていること
- 4 将来性**
今後も着実に活発な活動が継続されることが見込まれること
- 5 社会に対する影響力**
社会的な広がりや浸透力のある活動であること

応募方法

全国より、自薦/他薦にて広く募集します。 ※他薦の場合、推薦者名は公表いたしません。

応募手順 ※2026年度より応募方法が変更となりましたので、ご注意ください。

- ① 以下より、応募ガイドライン・応募申請書(PDF形式)をダウンロードし、必要事項をご記入ください。

[応募ガイドライン・応募申請書のダウンロードはこちら](#)



※応募申請書をダウンロードできない場合は、
Eメール(chikyushimin@jpf.go.jp)にてお問い合わせください。
※応募申請書(PDF形式)は、必ず2026年度版をお使いください。
※応募申請書(PDF形式)は、必ずAdobe Acrobat Readerで入力してください。
他のアプリケーションでは正しく動作しません。

[Adobe Acrobat Readerの無料ダウンロードはこちら](#)



- ② 応募申請書(必須)、財務諸表または財務諸表を提出できない理由書(必須)、活動に関する資料(任意)を揃え、公募申請サイトにてアップロードしてください。

[公募申請サイトはこちら](#)



※公募申請サイトのアカウントをお持ちでない方は、
アカウント作成ページに進み、アカウントを取得してください。
※1アカウントにつき1件の応募・推薦が可能です。1アカウントで複数件申請することはできません。
※複数件(最大5件)の応募・推薦をご希望の場合は、未登録のメールアドレスを使って、アカウントを新たに作成し、申請してください。

- ③ アップロードが完了しましたら、メールにて受領のご連絡をお送りします。

件数 お一人／一団体につき、最大5件までご応募いただけます。
※1団体につき1件の応募・推薦とします。
事業単位ではなく、団体としてご応募・ご推薦ください。

締切 2026年7月22日(水)
※申請は余裕をもって行ってください。
※郵送での送付は受け付けません。

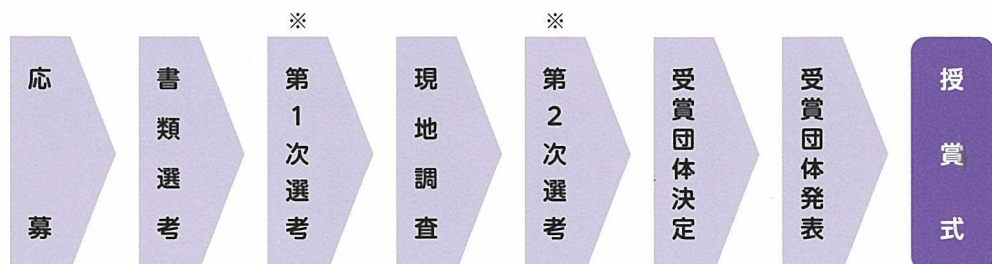
受賞団体の発表

2027年1月～2月頃に国際交流基金ウェブサイトにて発表します。

※ご応募いただいた皆様には、Eメールまたは書面にて結果を通知いたします。
※授賞式は、2027年3月に開催を予定しております。

受賞団体には、正賞(賞状)ならびに副賞(1件200万円)を贈呈いたします。

選考のプロセス



※国際交流基金が委嘱する有識者からなる選考委員会により、受賞団体を決定いたします。



多言語絵本の会 RAINBOW

(東京都目黒区)

母語を大切にしながら、 多文化共生社会の基盤を育てる

■授賞理由

多言語絵本の会 RAINBOWは、「国を超えて移動する子どもが母語を忘れないように、日本語で育つ子どもが外国語に関心をもつように」という活動理念のもと、日本人と外国ルーツの人々の間に共感が生まれることを願い活動を展開している。多言語よみきかせ、多言語電子絵本の制作、小中学校での国際理解授業の実施を通じた多角的なアプローチで外国にルーツを持つ子どもの母語継承や日本の子どもの異文化理解のきっかけを創出している。「人と人が心でつながる地球市民」の理念を実践する市民活動としての意義は大きく、その活動がより多くの人々に認知され、今後も継続的に発展することを期待し、本賞を授与する。

■受賞団体のコメント

2009年から始めた多言語電子絵本制作では、多くの外国人が喜んで、日本語の絵本やお話を自国語に翻訳し、朗読してくださいました。この受賞の喜びを多くの協力者にお礼の気持ちとともに届けたいです。外国人は社会に問題があって生じる「社会モデルの障害者」だと言われるようになってきました。読書がだれにとっても楽しいことになるように、この受賞のニュースで、バリアフリー図書に注目する人が増えることを願っています。



特定非営利活動法人

越後妻有里山協働機構

(新潟県十日町市)

違いを祝し、共に走る—— 「大地の運動会」から始まる協働の祝祭

■授賞理由

越後妻有里山協働機構は「大地の芸術祭」で培われた協働の精神を受け継ぎ、地域とアートを結びつけた文化活動を展開するために2008年に設立。廃校を活用した拠点づくりや住民・アーティスト・教育機関・企業との連携を通じて、地域文化を支える社会基盤を築いてきた。その理念のもと地域に実装された「大地の運動会」は日本独自の運動会を再解釈し、多様な人々が身体を通して交流する場をつくり出している。在住の外国人を含む多様な人々が同じチームで競技し、応援し、食事を共にし、互いの息づかいを分かち合う時間は、共に生きる感覚を身体で実感できる特別な体験であり総合芸術活動である。笑い声と声援が交差する共生社会の祝祭として「大地の運動会」を高く評価し、本賞を授与する。

■受賞団体のコメント

日本の小・中学校の運動会は、爺さま、婆さまから未就学児まで参加する、世界にも珍しい、地域をあげての伝統的な催しです。玉入れ、大玉送り、綱引き、駆けっこ、借り物競争等の種目に始まって、満艦飾(まんかんしょく)のグラウンドに音楽・ダンス付きの応援、食事の交換、手縫いのゼッケン、立看等、五感全開の楽しい交流・歓待の時空間が展開される喜びです。

ホモ・サピエンスが辿り着いた日本列島の、雪深い土地の米の収穫時に、異邦人、障がい者、経済的格差に生きる子どもたち、地球市民の遊びが受賞でき、とても嬉しいです。



大地の運動会 (Photo by Nakamura Osamu)

一般社団法人

多文化リソースセンターやまなし

(山梨県甲府市)

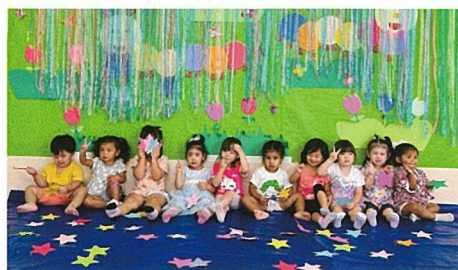
情熱を持って多文化社会の 未来を切り拓く「みんなのいばしょ」

■授賞理由

一般社団法人多文化リソースセンターやまなしは、外国籍の子どもと家庭への保育・教育支援を軸に、電話相談、多文化共生事業など多様な活動を行う。団体設立者は長年のブラジル駐在経験から日本で暮らす外国人の生活課題を痛感し、行政と連携して継続的な支援体制を築いてきた。バイリンガル職員を配置した先進的な小規模保育園「みんなのいばしょ」と「イノヴェ学園」は地域から高く評価され、幼少期からの日本語教育や地域交流を重視して多文化共生を促進している。強い情熱をもって課題解決と社会の調和をめざす取り組みを高く評価し、本賞を授与する。

■受賞団体のコメント

世界中から日本にやってくる外国籍の子ども達が、日本で一日も早く自立の道を歩んで欲しいとの思いから通訳がいる小規模保育園を作りました。毎日、日本語の勉強に励む子ども達の努力に応えるためにも、子ども達が楽しく学んで遊んで家族みんなが幸せを感じられる「みんなのいばしょ」づくりに挑戦中。今回の受賞を励みにして、一人でも多くの子ども達を輝かしい未来に送り出したいと思えます。



最近の受賞団体 (2019~2024)

過去の
受賞団体



年度	団体名	活動内容
2024	東九条マダン実行委員会	京都市東九条地域を拠点に、1993年以降毎年、まつり「東九条マダン」を開催。多様性に富んだ人々が集い、繋がり、自己を表現する場となり、多文化共生のひとつのあり方を体現している。地域・社会に対して有意義な経験を地道に提供し続け、国際的な市民社会の発展に貢献している。
	公益財団法人 佐賀県国際交流協会	1990年設立以来、長年にわたり国際交流を促進。近年は「心の国境をなくそう」をスローガンに掲げ、多文化共生を軸に活動を行っている。医療通訳や災害時の多言語支援でも高い成果を上げ、佐賀県における多文化共生の推進に欠かせない存在となっている。
	特定非営利活動法人 MIYAZAKI C-DANCE CENTER	運営主体はコンテンポラリーダンスカンパニー「んまつーポス」。宮崎を拠点に、学校の身体表現教育の支援、保育園の体育館を兼ねた劇場の開設、国際ダンスフェスの開催などを展開。創造活動と経営、地域貢献と国際交流を明るく両立しながら、言語を超えた交流を創出している。
2023	特定非営利活動法人 WELgee	日本にやってくる難民のキャリアや人生の目標に基づく教育プログラムの提供、雇用企業とのマッチングや就労後の伴走支援を通じて、誰もが未来を描ける日本をめざし活動を行う。WELgeeのアプローチは難民支援のみならず、在留外国人支援や国際理解活動においても示唆に富むものである。
	社会福祉法人 国際視覚障害者援護協会 (IAVI)	アジアをはじめとする発展途上国から視覚障害のある若者たちを日本に招き、盲学校への留学を支援している。自立や社会参加が困難な国々の視覚障害者に対して、未来を切り拓ききっかけを提供するとともに、発展途上国の障害者理解の推進にも貢献してきた。
	特定非営利活動法人 ABCジャパン	日系ブラジル人当事者によって設立され、神奈川県鶴見区を中心に教育・進学・就労等、外国人住人の人生に寄り添った幅広い支援を展開。在住外国人自らが地域の中で積極的に活動し、「共に鶴見に暮らす住人(鶴見人)」という共通点で地域とオープンな関係性を築いており、今後他地域のモデルとなることが期待される。
2022	特定非営利活動法人 アレッセ高岡	外国ルーツの青少年への学習支援事業に加え、地域の人々が互いの違いを理解・尊重し、多様性を真に受けとめる市民性教育プログラムを展開。実務的に課題の多い外国人散在地域において、多文化共生社会の実現に向け努力を重ね、地域活性化にも貢献している。
	特定非営利活動法人 Peace Culture Village	世界から広島を訪れる人々への平和ガイドや対話プログラムを提供。XRといったテクノロジーの活用や、若い世代が有償で仕事として参画するしくみを構築するなど、国際交流活動のあり方にも新たな可能性を示している。
	特定非営利活動法人 地域サポートわかさ	那覇市若狭地域で住民主体のコミュニティ形成を担う。地域住民の自発的な活動を後押しする一方、アーティストとの協働や細やかな情報発信を行う。近年は増加するネパール人住民の活動も支援し、地域における多文化共生の実現にも貢献している。
2021	一般社団法人 エル・システムジャパン	南米ベネズエラ発祥の音楽教育プログラム「エル・システム」を日本で展開。東日本大震災被災地等を中心に、音楽を通じて子どもたちが世界とつながり、自分に自信を持つよう工夫された活動であり、同時に地域活性化にも貢献している。
	学校法人 ムンド・デ・アレグリア学校	静岡県浜松市に数多く来日する南米からの子どもたちに向けて、日本と母国の両方に対応した教育を受けられる外国人学校「ムンド・デ・アレグリア学校」を設立。国籍や年齢等にかかわらずダイバーシティ社会実現への一助となっている。
	特定非営利活動法人 名古屋難民支援室	名古屋難民支援室は、東海地域に暮らす難民が法的に保護され、安定して自立した生活を送れるよう支援を行っている。食料支援や地域での定着支援など、難民一人ひとりに寄り添いながら、より良い多文化共生社会の実現にも貢献している。
2020	高田馬場さくらクリニック	外国にルーツを持つスタッフと協働し、外国人住民が気軽に通えるまちのクリニックを開院、運営。受診者に寄り添い、外国人住民の予防医療やスタッフの人材育成にも尽力。持続性のある多文化共生への貢献を行っている。
	特定非営利活動法人 海外に子ども用車椅子を送る会	利用されなくなった子ども用車椅子を回収し、整備している。活動を支える老若男女の約半数は日本で生活する外国人であり、活動が国際交流の場にもなっている。届けた後の整備など、継続的な取り組みの体制をしっかりと構築している。
	特定非営利活動法人 こえとことばとこころの部屋	「生きることは表現」をテーマに、労働者のまち大阪市西成区釜ヶ崎で、様々な背景の人々に出会いと表現の場を開き、社会との関わりを後押しする。海外の同種の団体やアーティストとの交流にも活動の幅を広げている。
2019	四日市市立西笹川中学校多文化共生サークル	西笹川中学校は外国にルーツを持つ生徒が3割を占める。「多文化共生サークル」は中学生が主体となって防災行事や夏祭り、文化祭等、地域のイベントに密接に関わりながら、多文化共生のまちづくりに参画している。
	特定非営利活動法人 ハート・オブ・ゴールド	「心身ともに健全な育成」という理念に基づき、被災地や紛争地および開発途上国の子どもたち、障がい者、貧困層の人々に対して、体育教育支援や養護施設、青少年人材の育成を目的とした日本語教室の運営、県内各所と連携した交流を行っている。
	国際児童・青少年演劇フェスティバル おきなわ実行委員会	国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ(通称「りっかりっか*フェスタ」)は、豊かな芸術体験は「ヌチグスイ=命の薬」との考えから、子どもたちや地元の人々が独創的で上質な世界中の舞台公演に気軽に触れる機会を長年提供している。

近畿地方

〈三重県〉

- 四日市市立西笹川中学校多文化共生サークル[2019]
- 財団法人 大内山塾[1988]

〈滋賀県〉

- 東近江大風保存会(旧八日市大風保存会)[2001]

〈京都府〉

- 東九条マダン実行委員会[2024]
- 特定非営利活動法人 バンゲア[2018]
- 特定非営利活動法人 テラ・ルネッサンス[2012]
- 特定非営利活動法人 ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク(JCDN)[2006]
- 財団法人 母と学生の会 京都支部「国際女子留学生センター」[1987]
- 公益財団法人 京都「国際学生の家」[1985]

〈大阪府〉

- 特定非営利活動法人 こえとことばとこころの部屋[2020]
- 公益財団法人 山本能楽堂[2015]
- 社会福祉法人 こころの家族特別養護老人ホーム故郷の家[2001]
- 特定非営利活動法人 多文化共生センター大阪(旧・外国人地震情報センター)[1995]
- 特定非営利活動法人 関西国際交流団体協議会[1994]
- 公益社団法人 アジア協会アジア友の会[1986]

〈兵庫県〉

- 特定非営利活動法人 神戸定住外国人支援センター[2015]
- 特定非営利活動法人 プラス・アーツ[2014]
- 特定非営利活動法人 ダンスボックス[2010]
- 特定非営利活動法人 芸術と計画会議(C.A.P.)[2007]
- 特定非営利活動法人 たかとりコミュニティセンター[2002]
- 神戸クロスカルチュラルセンター[1991]
- 公益財団法人 PHD協会[1988]

〈奈良県〉

- 特定非営利活動法人 なら国際映画祭実行委員会[2014]
- 一般財団法人 たんぼの家[1994]

中国地方

〈鳥取県〉

- 特定非営利活動法人 鳥の劇場[2011]
- 智頭町活性化プロジェクト集団[1995]

〈島根県〉

- 特定非営利活動法人 あしぶえ[2002]

〈岡山県〉

- 特定非営利活動法人 ハート・オブ・ゴールド[2019]

〈広島県〉

- 特定非営利活動法人 Peace Culture Village[2022]
- 広島アジア文化会館[1988]

四国地方

〈徳島県〉

- 特定非営利活動法人 グリーンパレー[2009]

〈香川県〉

- 公益社団法人 セカンドハンド[2004]

〈愛媛県〉

- 特定非営利活動法人 えひめグローバルネットワーク[2007]

〈高知県〉

- Genki 青年会[2005]
- 高知市立高知商業高等学校生徒会[2002]

九州地方

〈福岡県〉

- 特定非営利活動法人 アジア女性センター[2007]
- 特定非営利活動法人 アジア太平洋子ども会議・イン福岡[1992]

〈佐賀県〉

- 公益財団法人 佐賀県国際交流協会(SPIRA)[2024]
- 玄海クラブ[2000]
- 特定非営利活動法人 地球市民の会[1989]

〈長崎県〉

- 長崎国際交流塾[2004]
- 長崎県世界青年友の会(面白ちゃん倶楽部)[1996]

〈熊本県〉

- 一般財団法人 熊本市国際交流振興事業団[2016]
- 社団法人 熊本たけのこ会[1993]

〈大分県〉

- 国立大分工業高等専門学校足踏みミシンボランティア部[2012]

〈宮崎県〉

- 特定非営利活動法人 MIYAZAKI C-DANCE CENTER[2024]

〈鹿児島県〉

- 薩摩島地区会[2016]
- 太鼓集団 蒲生郷太鼓坊主[1997]
- 特定非営利活動法人 からいも交流[1986]

〈沖縄県〉

- 特定非営利活動法人 地域サポートわかさ[2022]
- 国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ実行委員会[2019]
- 特定非営利活動法人 アメラジアンズスクール・イン・オキナワ[2014]
- 琉球国祭り太鼓[1999]

関東地方

〈茨城県〉

- 特定非営利活動法人 自然生(じねんじょ)クラブ[2009]
- 浅賀正治(個人)[2005]
- 「茨城アジア教育基金」を支える会[1992]
- 高萩市国際交流協会[1986]

〈栃木県〉

- 栃高国際ボランティアネットワーク[2000]
- いっくら国際文化交流会[1991]
- 学校法人 アジア学院[1989]

〈群馬県〉

- 特定非営利活動法人 大泉国際教育技術普及センター[2008]
- からす川音楽集団[1995]

〈埼玉県〉

- 芝罘団地自治会[2017]
- 特定非営利活動法人 メイあさかセンター[1996]

〈千葉県〉

- 浦安市国際交流協会[1990]
- 財団法人 京葉教育文化センター[1987]

〈東京都〉

- 多言語絵本の会 RAINBOW[2025]
- 特定非営利活動法人 WELgee[2023]
- 社会福祉法人 国際視覚障害者支援協会(AVI)[2023]
- 一般社団法人 エル・システムジャパン[2021]
- 高田馬場さくらクリニック[2020]
- 特定非営利活動法人 海外に子ども用車椅子を送る会[2020]
- 特定非営利活動法人 Nagomi Visit[2017]
- 特定非営利活動法人 Peace Field Japan[2015]
- 特定非営利活動法人 難民支援協会[2012]
- 特定非営利活動法人 かものほしプロジェクト[2011]
- 特定非営利活動法人 アクション[2010]
- 特定非営利活動法人 多文化共生センター東京[2006]
- 財団法人 おはなしきやばばんセンター[1999]

〈神奈川県〉

- 特定非営利活動法人 ABCジャパン[2023]
- 特定非営利活動法人 黄金町エリアマネジメントセンター[2017]
- 特定非営利活動法人 BankART1929[2013]
- 特定非営利活動法人 多言語社会リソースかながわ(MICかながわ)[2013]
- 多文化まちづくり工房[2010]

中部地方

〈新潟県〉

- 特定非営利活動法人 越後妻有里山協働機構[2025]
- ミティラー美術館[1998]
- アース・セレブレーション実行委員会[1994]

〈富山県〉

- 特定非営利活動法人アレッセ高岡[2022]
- スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド実行委員会[2008]
- いなみ国際木彫りキャンプ実行委員会[1999]
- 一般社団法人 富山県芸術文化協会[1990]
- 劇団芸座[1985]

〈石川県〉

- 小松サマースクール実行委員会[2018]
- 金沢を世界へひろく市民の会[1987]

〈福井県〉

- 武生(たけふ)国際音楽祭推進会議[2003]

〈山梨県〉

- 一般社団法人 多文化リソースセンターやまなし[2025]

〈長野県〉

- 社団法人 長野国際親善クラブ[1993]
- いいだ人形劇フェスタ実行委員会[1991]

〈岐阜県〉

- 特定非営利活動法人 ブラジル友の会[2011]
- アーティスト・イン・レジデンス「美濃・紙の芸術村」実行委員会[2003]

〈静岡県〉

- 学校法人 ムンド・デ・アレグリア学校[2021]
- 一般社団法人 グローバル人材サポート浜松[2018]
- 特定非営利活動法人 浜松NPOネットワークセンター[2009]

〈愛知県〉

- 特定非営利活動法人 名古屋難民支援室[2021]
- 公益財団法人 豊田市国際交流協会[2001]
- とこなめ国際やきものホームステイ実行委員会[1997]

北海道

〈北海道〉

- 特定非営利活動法人 雪合戦インターナショナル[2013]
- 特定非営利活動法人 S-AIR(エスエア)[2008]
- 特定非営利活動法人 チェルノブイリへのかけはし[2005]
- 北方圏国際シンポジウム実行委員会[2003]
- 江差追分会[2000]
- 札幌子どもミュージカル育成会[1998]
- 北海道国際女性協会[1989]
- 一般財団法人 北海道国際交流センター[1985]

東北地方

〈青森県〉

- 特定非営利活動法人 ジュニア・グローバル・トレーニングスクール[2006]

〈岩手県〉

- 陸前高田市国際交流協会(理事長特別賞)[2011]
- 藤沢町国際交流協会[1998]
- 財団法人 岩手国際理解推進協会[1992]

〈宮城県〉

- 国際交流協会ともだちin名取(理事長特別賞)[2011]
- 特定非営利活動法人 国際都市仙台を支える市民の会(ICAS)[1997]

〈秋田県〉

- 秋田県国際交流をすすめる婦人の会「わびえ」[1995]

〈山形県〉

- 戸沢村国際交流協会[2004]
- 特定非営利活動法人 IVY(旧日本国際ボランティアセンター山形)[1996]
- 置賜百姓交流会[1993]
- 庄内国際交流協会[1990]

〈福島県〉

- ノルデ・ハボン(コスキン・エン・ハボン開催事務局)[2016]
- 特定非営利活動法人 ザ・ピープル(理事長特別賞)[2011]

